

平成31年度 伊丹市立伊丹特別支援学校経営方針

学校教育目標

一人ひとりの自立と社会参加をめざし、たくましく生きる力を育てる

めざす学校像

- 子どもたちが大好きな学校
- 保護者が子どもを通わせたい学校
- 教職員がやりがいを感じ、誇りを持てる学校
- 特別支援教育のセンター校として地域から信頼される学校

めざす教師像

- 自ら研鑽を積む姿勢を常に持てる教職員
- 説明責任と結果責任を果たすことへの意識を持つ教職員
- 子どもの強みを伸ばし、困難さを軽減することを工夫し、機会を逃さず対応できる教職員

めざす児童生徒像

- 明るく（明朗）
- やさしく（誠実・協力）
- たくましく（自己実現・自主自立）

◎ 本年度の重点目標

- ① 新学習指導要領の本格実施を控え、類型を意識したカリキュラムマネジメントを進める。
  - ・ 新様式の個別の教育支援計画、指導計画を保護者と共に作成し、授業や学校生活等に活かす。
  - ・ 児童生徒の課題に応じた授業内容や授業形態を工夫し、R-PDCA サイクルで授業改善を図る。
- ② 卒業後の進路や生活を見据え、肢体不自由特別支援学校としての取組の充実と地域への発信の強化
  - ・ ICF の視点から ICT 機器、社会資源など様々な支援を活用し、キャリア教育の視点を持った指導の充実を図る
  - ・ 交流及び共同学習を進め、児童生徒の豊かな人間関係を形成するとともに、特別支援教育への理解と啓発を行う
- ③ 安全で安心な学校づくり
  - ・ 様々な想定による避難訓練や「ヒヤリハット」報告など、教職員が安全への意識をもって行動する
  - ・ 看護師の適切な配置と体制整備を図り、連携しながら児童生徒への医療的ケアを安全に行えるようにする
  - ・ 保護者を対象とした学校ルールブックを作成し、学校生活の「見える化」を図る。
- ④ 一歩進んだセンター的機能の充実
  - ・ 市内小中学校との情報交流や、本校で開催する実践講座・自主研修会・研究会等への参加を呼びかけ、市内学校園の特別支援教育推進力を高める。
  - ・ すべての教職員がそれぞれの立場で「センター的役割」を意識し、実践する
- ⑤ 校務分掌の見直しを図り、教職員が目標を共有し、学部・学年間や各分掌の連携でチーム力を高め、学校課題にタイムリーに対応できる体制づくりを目指す。
- ⑥ ゆとりが感じられる職場づくり
  - ・ 週1回の定時退勤日・ノー会議デーの設定と完全実施を目指す。
  - ・ ルールブックを活用し、校務の情報化、会議等の効率化を進める。